|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 時間数 | 項目名 | 内容 |
| （１）　職務の理解 | ２ | 介護保険制度 | ●介護保険制度創設の背景及び目的●介護保険制度の基本的仕組み |
| 多様なサービスの理解 | ●介護給付 ●予防給付●介護予防・生活支援サービス事業 |
| 仕事内容や働く現場の理解 | ●仕事内容や働く現場の理解（訪問型サービス） |
| 介護職の役割、専門性と多職種との連携 | ●サービス提供に至るまでの流れ（要介護・要支援認定、基本チェックリスト、地域包括支援センター、介護支援専門員、ケアプラン）●チームケアの意義、多職種連携 |
| （２） 介護における  コミュニケーション技術 | ２ | 介護におけるコミュニケーション | ●介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割  ・利用者、家族とのコミュニケーション（相手への理解や配慮、傾聴、意欲低下の原因を考える、共感、家族の心理の理解、信頼関係の形成）  ●利用者の障がい（視力・聴力障がい、失語症、構音障がい、認知症）等の状況に応じたコミュニケーション |
| （３）　生活支援技術 | ２ | 生活と家事 | ●家事援助に関する基礎的知識と生活支援  （生活歴・価値観の理解、生活援助のポイント（調理、洗濯、掃除、買物等））  ●介護保険の対象外の支援  （衣替え、庭掃除等事例紹介） |
| （４）　老化の理解 | １ | 老化に伴うこころとからだの変化と日常 | ●老年期の発達と老化に伴う心身の変化と日常  （身体的機能の変化と日常生活への影響、精神的機能の変化と日常生活への影響） |
| 高齢者と健康 | ●要支援高齢者の状態像、老化による心身の変化、障害とICFの基礎知識  ●高齢者の疾病（機能低下）と日常生活上の留意点  ●高齢者に多い病気と日常生活上の留意点  ●社会参加と閉じこもり予防、運動機能訓練、栄養改善。口腔ケアなどの意義 |
| （５）　認知症の理解 | ２ | 認知症を取り巻く状況 | ●認知症ケアの理念 |
| 認知症の基礎と健康管理 | ●認知症の基礎知識、予防と早期発見、健康管理 |
| 認知症に伴う変化と日常生活 | ●認知症の人の生活障がい、心理、行動の特徴 |
| 家族への支援 | ●認知症の需要過程での援助、介護負担の軽減 |
| （６）　 介護における尊厳の保持、介護の基本 | ３ | 人権啓発に係る基礎知識 | ●人権について |
| 人権と尊厳を支える介護 | ●個人としての尊重 ●尊厳の保持●ＱＯＬの考え方 ●ノーマライゼーションの考え方 |
| 介護職の職業倫理 | ●職業倫理●利用者のプライバシーの保護 |
| 自立に向けた介護 | ●介護における自立支援（残存能力の活用、意欲を高める介護）●介護予防の考え方 |
| 安全の確保とリスクマネジメント | ●介護における安全の確保●リスクマネジメント●安全対策  ●感染対策（リスクマネジメント、事故報告、情報の共有）・生活援助における事故に結びつく要因を探り対応していくポイント |
| 介護職の安全 | ●介護職の心身の健康管理（ストレスマネジメント、感染症対策） |
| 計 | １２ |  |  |

たつの市緩和した基準による訪問型サービス従事者研修カリキュラム